

キッズハウス KPEC の認可・利用定員に係る意見に対する回答

- (1) 意見提出委員：4名
 (2) 意見に対する市の回答：以下のとおり

No.	意見	市の回答（考え方）
1	<p>意見：残念ながら反対です。</p> <p>反対の理由</p> <p>①今までに会議に一度も提案されていない従来の会議の中で、「あったか保育園」を新規に作る際には、計画についてや経緯を説明したり、担当者が進捗状況を説明してきました。「ひかりおおやま保育園」の際もそうだったはずです。加えて、認定こども園に移行する幼稚園も事前の説明があり、保育ニーズと利用定委員とのバランスをとってきたはずです。</p> <p>しかし、今回は事前に何も諮問されず、突然持ち回りの会議で、賛否を問うというのは、公正公平の観点からも容認できるものではありませんし、待機児童解消を一番の目的とする「子ども子育て会議」の趣旨にも反します。再考を希望します。</p> <p>②これまでの会議での議論の中で、旧黒磯地区については、需要が供給量を超えていないというのが、結論で、むしろ西那須野地区が、待機児童が多く、そこを重点的に改善しようということで、先の「あったか」「ひかりみどり」の新設に繋がったはずで</p> <p>③次に、認定こども園の充足率（特に3号認定）を増やしていこうという話も再三会議の中で出た話だと思えます。それが一向に改善されずに、今に至っている訳で、そ</p>	<p>①今回の子ども・子育て会議については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による開催としたところですが、本来であれば、会議を開催し本件について説明すべきものですが、今般の状況を踏まえ、ご了承ください。</p> <p>また、本件認可については、第2期那須塩原市子ども・子育て未来プラン(令和2年3月策定)において、確保方策として当該事業所の認可移行を想定しているとともに、第2期那須塩原市保育園整備計画（令和2年3月策定）においても、認可外保育施設からの移行による「地域型保育事業所の設置」を施策として位置付けており、急きよ実施しているものではなく、計画的に進めているものでございます。</p> <p>なお、今回の意見聴取については、賛否を問うものではないため、ご意見につきましては、今後の保育園整備施策の推進に当たり、十分考慮させていただきます。</p> <p>②旧黒磯市街地については、ご指摘の傾向にあります。今回認可予定の事業所がある東那須野地区では、待機児童が発生する見込み（令和2年4月1日付け調査）であるため、ニーズに応じた認可になるものと考えております。</p> <p>③認定こども園については、③第1期計画から保育士確保等、充足率の改善のための施策に取り組んでおり、第2期保育園整備計画においては、「既存の私立保育園及び私</p>

No.	意見	市の回答（考え方）
1	<p>うした努力をしないで、安易に認可するべきではない。</p> <p>④将来的な人口予測の結果、平成27年度を頂点にして、その後は人口減になっていく旨を、再三会議で示しておきながら、今に至って、僅か15名定員の小規模保育事業所の話は、論外と思われます。</p> <p>⑤むしろ、本気で待機児童を考えるなら、近隣の「ひがしなす保育園」の民営化に積極的に乗り出すなり、距離は離れるが「わかば保育園」を移動して、新設で対応するなり、方法はいくらでもあるはずだと思われます。</p> <p>⑥市にそれほどの財政的な余裕があるのでしょうか？新設の小規模を認可するより、中長期的な保育所適正化プログラムを本気で考えないと。一度認可すれば、ほぼ永久に補助金については回りますし、今後の公立保育園の民営化計画にも多くの支障をきたすと考えられます。</p>	<p>立認定こども園の整備の促進」を施策として掲げております。今後、0歳児を中心とした利用定員増について、関係事業者と協議して進めていくとともに、様々な施策を組み合わせ効率的な施策を展開し、待機児童解消を達成していきたいと考えております。</p> <p>④人口減少下においても、0歳児から2歳児の待機児童が見込まれるため、小規模保育事業所については、「地域型保育事業所の設置」として、第2期保育園整備計画の施策として位置付けており、設置を促進していく考えでございます。</p> <p>⑤ご指摘の2園の民営化につきましても、第2期保育園整備計画において位置付けておりますので、今後検討を進めてまいります。</p> <p>⑥ご指摘のとおり厳しい財政状況でございます。そのため、第2次那須塩原市総合計画（実施計画）を始め、未来プランや保育園整備計画等に基づき、計画的に施策を推進してまいります。</p>
2	<p>那須塩原市においても、今後隣接自治体の認定こども園等とも連携しながら、地域の子育て支援機能を維持・確保することが目指されていくと思われます。特に0歳児、1・2歳児への子育て支援であり少子化傾向に向き合う本市において、必要な今回の認可と考えます。</p> <p>今般政府は、2025年までの少子化対策の</p>	<p>地域の子育て支援機能の維持・確保のため、第2期保育園整備計画等に基づき、着実に施策を推進してまいります。</p>

No.	意見	市の回答（考え方）
2	<p>指針である「第4次少子化対策大綱」案を、5年ぶりにまとめました。背景には、常に指摘される経済的不安定さ、仕事と子育ての両立の難しさ、子育て費用の重さ等の複雑な重なりがあることは、既に共通認識といえると思います。</p> <p>コロナ対策に懸命に取り組む社会は、経済・財政から身近な家庭・職業生活まで喫緊の課題を要請していますが、その中において、一つひとつの基本的な施策を丁寧に積み上げることが肝要かと考えます。今回の認可についても、その一環かと捉えられます。</p>	
3	<p>乳児を預ける場所のニーズは多いので有り難いことです。よろしくお願ひいたします。</p>	<p>将来の少子化の進行なども見据え、需要と供給のバランスを勘案し、待機児童解消のための施策を推進してまいります。</p>
4	<p>①5歳児と比較して0歳児が約20%減少している中で、将来予測される少子化に対して利用定員調整をすることになった際に保育の質が担保されているところを優先して欲しい。</p> <p>②今後の5年間を決める大切な会議であるので会議開催が難しいのは承知していますが、書面での開催ではなくWEB会議等の開催することを検討して欲しい。</p>	<p>①利用定員の調整については、将来想定される課題でございますが、まずは公立保育園において調整することを想定しております。第2期保育園整備計画において、「公立保育園の今後についての検討」を施策としており、将来の公立保育園の役割等を明確化していく予定でございますので、ご指摘の点を踏まえ、検討してまいります。</p> <p>②今回につきましては、緊急事態宣言が発令されている状況であったこと等を踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による開催とさせていただきます。今後につきましては、ご提案のWEB会議も含め、開催方法等について、検討してまいります。</p>